

## 第4回全体会 開催概要 (下北沢エリアマネジメント協議会)

日 時：2026年2月26日(木)18:00~19:30

場 所：北沢タウンホール 12階 スカイサロン

### 1 開会

### 2 議題

- 第3回全体会の振り返り
- 部会報告(取組内容、令和7年度活動計画・会計報告案、令和8年度事業計画・予算計画案)
  - ・広報部会(報告会開催概要、まちのマナー啓発の取組検討)
  - ・事業部会／法人化検討部会(社会実験の取組検討、法人設立の検討状況)

### 3 意見交換

- 各部会からの報告内容について、各グループで意見交換を実施

### 4 報告

- 第2回定時総会・第5回全体会の開催日程

【5月15日(金)18:00~20:00 北沢タウンホール 12階 スカイサロン】

### 5 閉会

[当日の様子]



## 意見交換 要旨

### ■ 下北沢エリアマネジメント協議会

協議会には、地域の声を吸い上げ、行政へ届ける重要な役割が期待されるとともに、地域の活性化に向けて、イベント主催者と協議会の役割や連携体制を整理する必要性が指摘された。

---

### ■ エリアマネジメント法人の設立検討

都市再生推進法人の指定を見据えると、地域のまちづくりを担う中核として、人員体制、経済基盤、地域や関係機関との連携など、継続的な運営に必要な総合力が求められることが確認された。そのため、2~3年間の活動を通じて、道路空間の活用だけでなく、地域活動と協力した実績を積み上げる重要性が指摘された。

収益面では、他地域の事例を参考に、広告収入や協賛金の活用可能性が示された。駅前広場の歩道の利活用においては、出店者が負担可能な料金水準の調査や、通行量把握のための流動調査の必要性も挙げられた。

法人形態に関しては、非営利型でありながら株式会社を検討する理由の明確化が求められた。株式会社を選んだ場合、会計業務の複雑化や専任事務局の設置など運営体制の負担も増すことも踏まえ、一般社団法人を軸としつつ、持続可能な収益事業を検討する必要性が共有された。

---

### ■ まちのマナー啓発

下北線路祭に合わせたごみ袋配布キャンペーンが提案され、協議会の広報活動としての役割や低コストでの実施方法が説明された。配布枚数は300枚程度を想定し、利用状況を通じて啓発効果を検証することとした。

ごみの持ち帰りについては街全体で取り組むべきとの意見が多く、イベント主催者への周知協力も求められた。また、住民が直接注意しにくい現状を踏まえ、区による看板設置など、ルールを明確に伝える仕組みづくりの必要性が挙げられ、外国人向けには多言語表記が望ましいとの意見があった。

喫煙マナーに関しては、喫煙所以外での路上喫煙やポイ捨てが問題となっており、サインへの中国語併記など、より分かりやすい案内の必要性が示された。かつて反対意見もあった喫煙所は、ルール啓発と併せて運用した結果、現在ではマナー向上に寄与しているとの評価もあった。

そのほか、鳩への餌やり対策、酷暑対応としてのクールスポットやミスト設置、地域の子どもたちへの啓発教育、夜間のごみ放置への対応など、多様な視点から街の環境改善に向けた意見が出された。また、他地域の取り組みと連携することで、下北沢全体の美化意識向上が期待できるという提案もあった。